

## 小学校 外国語活動 部会

部会長 川崎町立池尻小学校 校長 森 隆子  
実践者名 赤村立赤小学校 教諭 山内 淑子

### 1 研究主題

外国語を使って、積極的にコミュニケーションを行う外国語活動の在り方  
～反応表現を取り入れた単元構成を通して～

### 2 主題設定の理由

#### (1) 社会の要請から

平成26年11月、文部科学大臣の「初等中等教育における教育課程の規準等の在り方について」の諮問の中で、グローバル化が急速に進展していく社会の中で、言語や文化が異なる人々と主体的に協働していくことができるよう、外国語で躊躇せず意見を述べ、他者と交流していくための必要な力をどのように育成していくべきかが検討課題の一つとして述べられた。小学校においては、互いの考えや気持ちを伝え合う能力の育成をどのようにしていくべきか、大きな課題である。そこで、外国語活動の目標で示されている積極的にコミュニケーションを図ろうとする子どもたちを育てる外国語活動の在り方を探る研究は非常に重要であると考ええる。

#### (2) 小学校外国語活動実施状況調査から

文部科学省が行った「平成26年度 小学校外国語活動実施状況調査」において、外国語活動導入前と比べて中学校教員の65.6%が、中学校1年生の生徒に「成果や変容が見られた」と回答しており、その変容の具体として92.6%が「英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」を挙げている。このことから、多くの中学校外国語担当教員が外国語活動導入による児童のコミュニケーションを図ろうとする態度の変容を肯定的にとらえていることが分かる。さらに小学校5・6年生の91.5%が英語を使えるようになりたいと回答しており、英語に対する意欲が高いことが分かる。また、小学校5・6年生の英語の授業の中で楽しいと思うことについての問いには66.6%が英語で友だちと会話をするのと答えている。しかし、会話の中身を見ると、型にはまった質問とその答えで終わることが多く、相手の答えを受けて反応するまでには至っていないことが多い。よって、外国語を使って自分の思いを伝えたり、相手の思いを受けて反応したりする積極的なコミュニケーションを行う外国語活動の在り方を探る研究は、重要であると考ええる。

#### (3) 児童の実態から

外国語活動の授業において、児童は意欲的にALTのいう英語を発話したり、英語を使ったゲームに取り組んだりしている。また、児童は初めて、英語での言い方を知ったり、今まで知らなかった英語が言えるようになったりすることに楽しさを感じている。しかし、自分の思いを相手に伝え、わかってもらえた時の喜びやお互いのことを分かり合う楽しさを感じるまでには至っていない。

そこで、自分の思いを相手に伝え、相手はそれを受けて感じたことを反応してくれる心地よさを味わい、コミュニケーション自体が楽しいと感じる体験が必要であると考ええる。

### 3 主題の意味

(1) 「外国語を使って、積極的にコミュニケーションを行う外国語活動の在り方」とは

「外国語を使って、積極的にコミュニケーションを行う」とは、相手に分かってもらいたい事実、気持ち、考えを、外国語を使って伝達し、伝達されたことが分かるように反応したり、相手の思いを受けて自分が感じたことを表したりすることである。

そこで、目指す児童像を以下のように設定する。

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| ○ 外国語を使って、コミュニケーションをとることに楽しいと感じる児童                              | 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 |
| ○ 相手に自分の思いが伝わるまで話そうとしたり、相手の思いが伝わったことを反応しようとする児童                 | 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 |
| ○ 相手に自分の思いが伝わるように外国語の語彙を選んで話したり、伝わったことが相手に分かるように語彙を選んで反応したりする児童 | 【外国語への慣れ親しみ】          |

(2) 「反応表現を取り入れた単元構成を通して」

「反応表現」とは、外国語を使う会話において、理解の状況を示し、相手の思いを尋ねたり、自分の思いを伝えたりするための短い表現や語彙のことである。(図1)

感嘆 同意	確認 理解	依頼	感想 (称賛・受容)	感想 (応援・感謝)	質問	正解 不正解
 Wow! わお！何て すごい！	 OK? いい？	 One more time! もう一回！	 Good! いいねえ	 Good luck! 頑張って！ 幸運を祈るよ	 Why? なぜ？	 That's right! その通り！
 Really? 本当？	 OK! いいよ	 Gesture, please! ジェスチャーを してください！	 Nice! いいねえ 素晴らしい	 Do your best! 頑張って！	 Anything else? 他には？	 Close! 惜しい！
 Oh! おお！ わあ！	 Got it? 分かった？	 Hint, please! ヒントを ください！	 Great! いいねえ すごいねえ	 Never give up! あきらめ ないで！	 And then? それから？	思案
 Yeah! うん	 Got it! 分かった	 Draw it, please! 絵に描いて ください！	 Cool! いいねえ カッコいい	 You can do it! 君なら できるよ！	 What's that? それ何？	 Let me see... ええっと...
 Me too! 私も！	 I see! 分かった		 Excellent! すごい！ 素晴らしい	 Thank you! ありがとう		

図1 反応表現

「反応表現を取り入れた単元構成を通して」とは、「つかむ」「慣れる」「生かす」の三段階の中に、反応表現を取り入れた活動を構成することである。「つかむ」段階では、単元を通した課題を設定し、単元のゴール像をつかませる活動を行う。「慣れる」段階では、自分の思いを伝えるための基本の表現や語彙、反応表現に慣れ親しむ活動を行う。「生かす」段階では、慣れ親しんだ基本の表現や反応表現を使って、お互いの思いを伝え合う活動を行う。

#### 4 研究の目標

小学校第4学年において、外国語を使って、積極的にコミュニケーションを行う外国語活動の在り方を究明する。

#### 5 研究仮説

小学校第4学年の外国語活動において、反応表現を取り入れた活動構成を行えば、目的をもって、外国語を話したり、相手からの反応があることで伝わった心地よさを感じたりすることができ、外国語を使って、積極的にコミュニケーションを行う児童を育てることができるだろう。

#### 6 授業の計画

(1) 単元 「好きなものを伝えよう」

(2) 単元の目標及び活動計画

##### ① 単元の目標

- 好きなものについて、進んで尋ねたり答えたりしようとする。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 好きなものは何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。  
【外国語への慣れ親しみ】
- 日本語と英語の音の違いに気付く。  
【言語や文化に関する気付き】

##### ② 単元の評価基準

- 好きなものについて、進んで尋ねたり答えたりしている。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 好きなものは何かを尋ねたり答えたりしている。  
【外国語への慣れ親しみ】
- 日本語と英語の音の違いに気付いている。  
【言語や文化に関する気付き】

##### ③ 単元の活動計画（5時間）

	目標・活動	言語材料	評価	
			評価規準	評価方法
1	日本語と英語の音の違いに気付き、好きなものを尋ねたり答えたりする表現を知る。 単元のゴール像をつかむ。「好きなものを伝えよう」 ○ミッシングゲーム ○ポインティングゲーム ○仲間探しゲーム	What do you like? I like ~. coffe, juice, mlk, tea, pudding, doughnut, cake, ice cream, yogurt, parfait, cream puff	・お菓子や飲み物などの言い方について、日本語と英語では音が違うことに気付いている。  【気】	行動観察 振り返りカード分析
2	果物の言い方や好きなものを尋ねたり答えたりする	What fruit do you like? I like ~. pineapples,	・好きなものを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり、言ったりし	行動観察 振り返りカード

れる	表現に慣れ親しむ。 ○ミッシングゲーム ○フルーツバスケット ○ビンゴゲーム	apples, bananas, grapes, melons, peaches, lemons, strawberries, cherries, I see. Ok! Nice! One more time.	ている。  【慣】	ド分析
3 慣 れ る 本 時	スポーツの言い方や好きなものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○好きなものバスケット ○ビンゴゲーム	What sports do you like? I like ~. baseball, soccer, swimming, basketball, badminton, tennis, unicycle, dodge ball, table tennis, I see. Ok! Nice! One more time.	・好きなものを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり、言ったりしている。  【慣】	行動観察 振り返りカード ド分析
4 慣 れ る 本 時	動物の言い方や、好きなものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○ミッシングゲーム ○ポインティングゲーム ○インタビューゲーム	What animal do you like? I like ~. dogs, cats, koalas, lions, kangaroos, rabbits, gorillas, pandas, I see. Ok! Me too.	・好きなものを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり、言ったりしている。  【コ】	行動観察 振り返りカード ド分析
5 生 か す 本 時	好きなものは何かを進んで尋ねたり答えたりしている。 ○サイコロトークキング ○Who am Iクイズ	What ___ do you like ~? I like ~. I see. Ok! Me too. Wow! One more time.	友だちの好きなものについて尋ねたり、自分の好きなものを言ったり、友だちの好きなものを聞いて反応したりしている。  【コ】	行動観察 振り返りカード ド分析

7 本時

(1)日時 平成28年10月17日(月) 第6校時 於 4年2組教室

(2)主眼

好きなスポーツは何かを尋ねたり答えたりすることができる。

(3)準備

教師：スポーツの絵カード(掲示用)

児童：スポーツの絵カード、ビンゴカード、振り返りカード

(4)展開

	学習活動	教師の支援と評価	時
導 入	1 あいさつをし、簡単な会話を交わす。 How are you? I'm fine (happy, hangry).  2 単元の目的と前時までの学習を想起させ、本時の学習のめあてを確認する。 好きなスポーツを尋ねたり、答えたりする英語の言い方に慣れよう。	○楽しい雰囲気をつくるため、指導者は大きな声で笑顔であいさつをする。  ○さいころトークキングで使う英語について確認することで、単元のゴール像を明確にする。 ○What sports do you like?の表現を	5

展 開	3	<p>チャンツを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好きなスポーツを尋ねる表現のチャンツを行う。</li> </ul>	<p>使って、ALTに質問したことを、答えを三択にして予想させ、興味をもたせる。</p> <p>○ ALT と HRT が尋ねる人と答える人に分かれて言い、尋ねる表現と答える表現が分かるようにする。</p>	5
	4	<p>スポーツバスケットゲームを行う。</p> <p>①大きな円になり、座る。</p> <p>②円の中心に立っている代表児童に、全員で“What sports do you like?”と尋ねる。</p> <p>③代表児童は“I like～.”と答える。</p> <p>④言われたスポーツの絵カードを持っている児童が別のいすに動く。</p> <p>⑤座れなかった児童が代表児童となり、円の中心に立つ。</p>	<p>○ “What sports do you like?”の言い方やそれぞれのスポーツの言い方が分からない児童の横で発話し、チャンツで言った語彙や表現を想起させる。</p>	15
	5	<p>ビンゴゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>“What sports do you like?”とできるだけたくさんの人にインタビューを行い、ビンゴのラインをそろえる。</li> </ul>	<p>○尋ねる表現や答える表現、反応の仕方を方や答え方をつかませるため、ALTと代表児童、代表児童同士で、デモンストレーションを行う。</p> <p>◎何のスポーツが好きかを尋ねたり、答えたりしている。【慣】(行動観察・振り返りカード)</p>	15
ま と め	6	<p>本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りカードを記入する。</li> <li>振り返りを発表する。</li> <li>終わりのあいさつをする。</li> </ul>	<p>○振り返りを数名の児童に発表させ、児童の英語を使おうとする態度でよかった所を具体的に褒めることで、次時への意欲を高める。</p>	5

## 8 本時授業の結果と考察

	指導者の手立て	児童の様子	考察 (よかった点・改善点)
導 入	授業の導入において単元の目的を確認した。	単元の最後にさいころトーキングを行い、自分の好きなスイーツや飲み物、果物、スポーツ、動物などを友だちに伝える活動を行うという目的が分かりそれぞれの英語での聞き方をすらすらいうことができた。	○単元のゴール像を児童に単元の最初につかませたことによって、児童が何のためにゲームをするのかを理解して活動に取り組むことができた。
展 開	スポーツバスケットゲームにおいては、	あらかじめ配られたスポーツの絵カードの英語をよく聞いてゲ	○スポーツの単語の中から、発音やイントネーションが難

	円の中心に立った児童が I like ～.と答えたときに、自分の持っているカードを言われた時に席を変わるというルールを設定した。	ームを楽しんでいた。ゲームの中で席を変わってほしいという気持ちから、発音が難しいスポーツの英語の言い方もしっかり覚えて発話することができていた。	しいと思われる単語を選んで、カードを渡したことで、ゲームの中で何度も発話し、慣れ親しむことができた。
	ビンゴゲームの前のデモンストレーションで聞き手の反応を取り入れた。	たくさんの児童にインタビューしたり、反応表現である I see. Ok! Nice. Thank you.なども言ったりすることができた。	●ジェスチャーやスマイルなどの反応表現も大切であり、非言語の反応表現も整理して視覚化することが大切である。
まとめ	振り返りカードを基に振り返りをした。	活動が楽しかったという感想を発表することができた。	○振り返りを基に児童のよかったところを褒めることができた。

本時の授業の振り返りカードにおいて、全員の児童が「今日の活動はとても楽しかった」と答えた。また、全員の児童が「“What sports do you like?” “I like～.”とすることができた」と答えた。しかし、「友だちが言ったことに対して、反応することができましたか」の問いには、「できた」と答えた児童は75%、「だいたいできた」と答えた児童は25パーセントであった。また、児童の感想には、「みんなに聞いたときに一人一人反応してくれたからうれしかった」「スポーツの英語が言えるようになってよかった」「いろいろな人に英語で聞くことができて楽しかった」とあった。このことから、児童は友だちに英語で聞いたり答えたり活動を楽しんでいることがわかる。また、友だちからの反応があるとさらにコミュニケーション自体が楽しくなっていることがわかる。しかし、友だちにインタビューし、答えが返ってきたことに対して反応することは、簡単にできるのではなく、今後も継続して取り組んでいく必要がある。

## 9 研究のまとめ

○単元の最初に、単元のゴール像を児童に明確にもたせることは、児童が目的をもってゲームに取り組んでいくことができ、有効であると感じた。

○単元の最後に行う活動が児童にとって興味のあることを設定することで、児童が「楽しそうだ」「やってみたい」と感じることができ、そのために英語の言い方を覚えたいという意欲につながるようになった。

○聞き手が反応することで、話し手がうれしいと感じ、コミュニケーションが楽しくなることがわかった。

## 10 成果と今後の課題

### (1) 成果

①小学校第4学年において、いろいろな反応表現の中から、“Really? Me too.”などの感嘆・同意を表す反応表現や“Good.. Nice.”などの称賛・受容を表す表現、“One more

time. Hint, please.”などの依頼を表す表現、“I see. Ok.”などの理解を表す反応表現を選んで、単元に取り入れたことは外国語を使って、積極的にコミュニケーションを行う児童を育てる上で有効であった。

②単元を「つかむ」「慣れる」「生かす」の三段階で構成し、児童に単元の目的をつかませたことは、児童が意欲や見通しをもって活動に取り組むことにつながり、外国語を使って、積極的にコミュニケーションを行う児童を育てる上で有効であった。

## (2) 今後の課題

小学校3・4年生の外国語活動実施に向けて、非言語を含めた反応表現を分類・整理しどのような順序で単元に入れていくかを計画する必要がある。

## ◎参考文献

- ・村野井 仁(2001) 『実践的英語科教育法』成美堂